

がん検診に関する検討会	
平成19年6月26日	参考資料5

参考資料5：

市町村におけるがん検診の実施状況等及び事業費に関する調査結果

## 市区町村におけるがん検診の実施状況等調査結果

### 1. 調査方法等

各都道府県を通じ、管内市町村（対象：2273 市町村）に対し、がん検診の実施状況（平成 18 年 1 月 1 日時点）についての調査を行った。

### 2. 結果概要

○全市町村（2273）から回答があった（回収率 100%）。

○国の指針通りに実施している市町村は、胃がん、子宮がん、大腸がんについては、ほぼ 100%であったが、肺がんは約 90%、乳がんは約 84%であり、やや低かった。国の指針どおり実施していない市町村数は 449 であり、乳がん 375、肺がん 226、大腸がん 24、胃がん 7、子宮がん 8 であった。このうち、指針以外の方法でも実施していない市町村数は、肺がん 109、乳がん 30、子宮がん 3、胃がん 2、大腸がん 2 であった。なお、5 種類のがん検診を一切実施していない市町村はなかった。

（参考）平成 16 年度老人保健事業報告では、がん検診を実施していない市町村数は、肺がん 176、乳がん 70、大腸がん 6、胃がん 5、子宮がん 3 であり、5 種類のがん検診を一切実施していない市町村はなかった。

○国の指針以外の方法でも実施していない市町村における理由としては、肺がんは、「他に優先すべき事業がある(40)」、「有効性が不十分であるため(22)」が多く、乳がんは、「予算を確保できないため(15)」、「実施できる施設がないため(7)」が多かった。

○国が指針で定めている以外の種類のがん検診としては、前立腺がんに対する PSA 検査(957)、肝がんに対するエコー検査(26)が実施されていた。

○国の指針よりも対象者を絞り込んで実施している市町村数は、乳がん 495、子宮がん 263、胃がん 115、肺がん 98、大腸がん 78 となっており、特に乳がんで多かった。絞り込む方法としては、先着順、抽選、年齢制限等がみられた。

○がん検診の周知方法としては、「広報誌に掲載(1896)」、「個別郵送(1436)」、「ホームページに掲載(1000)」は多くの市町村で実施されていたが、「個別訪問(212)」を実施しているのは少数にとどまった。

○自己負担額は、集団方式は安く、医療機関委託方式は高い傾向にあった。医療機関委託方式の自己負担額については、肺がん検診、大腸がん検診は 1000 円以下、子宮がん検診、乳がん検診は 500 円から 2000 円が多く、比較的安い市町村が多かったが、胃がん検診は 2500 円以上徴収する市町村も多く認められた。

○医療機関委託方式の検診を無料で実施している市町村数は、子宮がん検診が 129、大腸がん検診が 102、肺がん検診が 84、胃がん検診が 49、乳がん検診が 48 であった。

## 市区町村におけるがん検診の実施状況の調査結果（全国）

### 1 回収状況

	市町村数	割合
調査対象とした市町村	2273	100.0%
回答のあった市町村	2273	100.0%

### 2 各がん検診の実施状況

	胃がん	子宮がん	肺がん	乳がん	大腸がん
国の指針どおりに実施している市町村	2266 (99.7%)	2265 (99.6%)	2047 (90.1%)	1897 (83.5%)	2249 (98.9%)
国の指針どおりに実施していない市町村	7 (0.3%)	8 (0.4%)	226 (9.9%)	375 (16.5%)	24 (1.1%)
不明・無回答	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.0%)	0 (0.0%)
合計	2273 (100.0%)	2273 (100.0%)	2273 (100.0%)	2273 (100.0%)	2273 (100.0%)

3 国の指針通り実施していない理由

		理由	計		(参考)国の指針
胃がん	実施していない市町村	予算を確保できないため 記載なし	1 1	2	7 40歳以上 問診、胃部X線検査 毎年
	何らかの形で実施している市町村	内視鏡 隔年 35歳以上	3 1 1	5	
子宮がん	実施していない市町村	他に優先すべき事業があるため 受診者が少ないため 記載なし	1 1 1	3	8 20歳以上 問診、視診、細胞診 内診 隔年
	何らかの形で実施している市町村	年齢制限により実施 隔年 視診のみ その他*1	2 1 1 1	5	
肺がん	実施していない市町村	他に優先すべき事業があるため 有効性が不十分であるため 予算を確保できないため 今後、実施予定 発症予防に力を入れているため 実施を検討中 実施できる施設が少ないため 受診者が少ないため 記載なし	40 22 21 9 5 3 2 2 5	109	226 40歳以上 問診、胸部X線検査 喀痰細胞診 毎年
	何らかの形で実施している市町村	X線のみ ヘリカルCT・CT等 結核健診 喀痰検査のみ その他*1	81 34 12 1 1	117	
乳がん	実施していない市町村	予算を確保できないため 実施できる施設が少ないため 人員が確保できないため 受診者が少ないため 今後、実施予定 実施を検討中 記載なし	15 7 4 4 2 1 1	30	375 40歳以上 問診、視診、触診 マンモグラフィー 隔年
	何らかの形で実施している市町村	超音波検査のみ マンモグラフィーのみ 複合(マンモグラフィー+超音波等) 年齢制限により実施 隔年 視触診のみ その他*1	122 98 81 29 8 6 1	345	
大腸がん	実施していない市町村	予算を確保できないため 記載なし	1 1	2	24 40歳以上 問診、便潜血検査 毎年
	何らかの形で実施している市町村	県の指針で実施*2 その他*1 記載なし	19 2 1	22	

\*1 受診者主導での医療機関受診(費用一部助成)

\*2 40歳以上、1日2個法による免疫便潜血で実施検査

#### 4 国の指針以外の方法によるがん検診の実施状況

	市町村数
指針以外のがん検診を実施している	1624(71.4%)
指針以外のがん検診を実施していない	643(28.3%)
不明・無回答	6(0.3%)
合計	2273(100.0%)

#### 5 国の指針以外の方法(複数回答可)

	市町村数
胃がん検診(ペプシノゲン法)	29(1.3%)
胃がん検診(胃カメラ検査)	65(2.9%)
肺がん検診(CT検査)	15(0.7%)
肺がん検診(ヘリカルCT検査)	99(4.4%)
乳がん検診(エコー検査)	482(21.2%)
前立腺がん検診(PSA検査)	957(42.1%)
肝がん検診(エコー検査)	26(1.1%)
甲状腺がん検診(エコー検査)	8(0.4%)
その他*	1548(68.1%)
回答のあった市町村(再掲)	2273(100.0%)

\*30歳代に大腸がん検診を実施するなど、対象年齢が異なるなど。

#### 6 対象者を制限しているか

	胃がん	子宮がん	肺がん	乳がん	大腸がん
国の指針どおり対象者を設定している市町村	2151 (94.9%)	2002 (88.4%)	1949 (95.2%)	1401 (73.9%)	2168 (96.4%)
国の指針よりも対象者を制限している市町村	115 (5.1%)	263 (11.6%)	98 (4.8%)	495 (26.1%)	78 (3.5%)
不明・無回答	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.1%)	3 (0.1%)
合計	2266 (100.0%)	2265 (100.0%)	2047 (100.0%)	1897 (100.0%)	2249 (100.0%)